

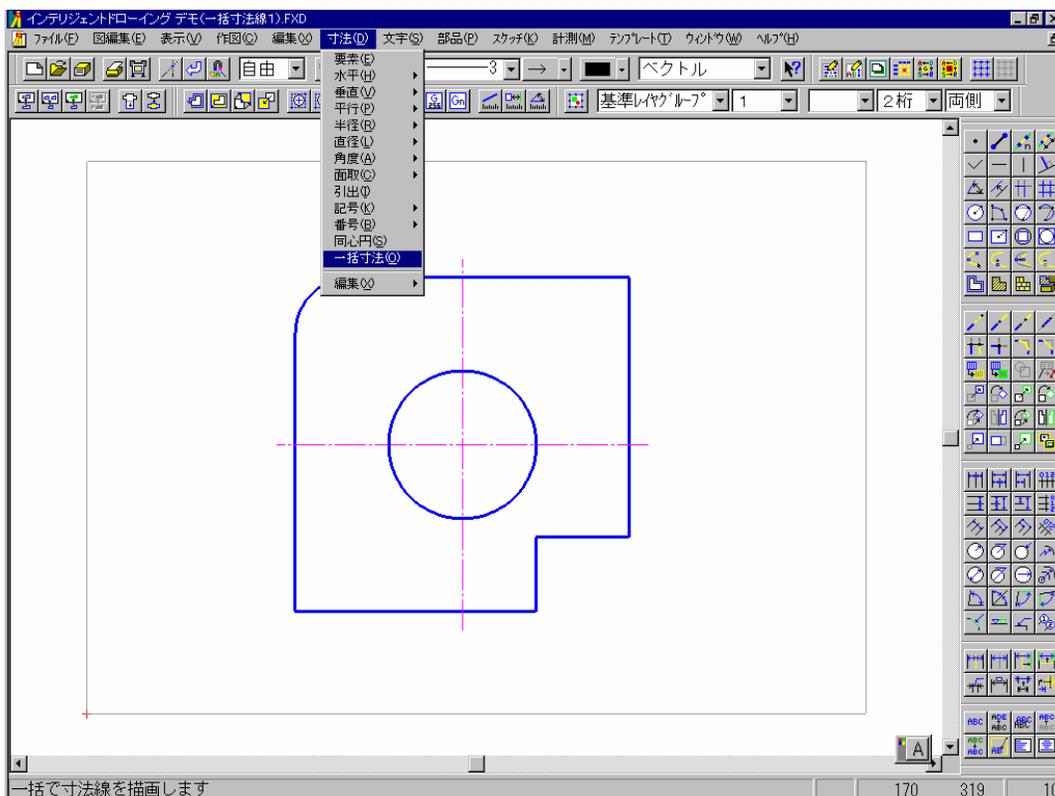
— CAD SUPER FX 一括寸法線機能 —

～デモマニュアル～

一括寸法線機能についてご説明いたします。

(デモ (一括寸法線 1) ファイルを開く)

一括寸法線は、指定した要素から寸法線を自動発生させる機能です。

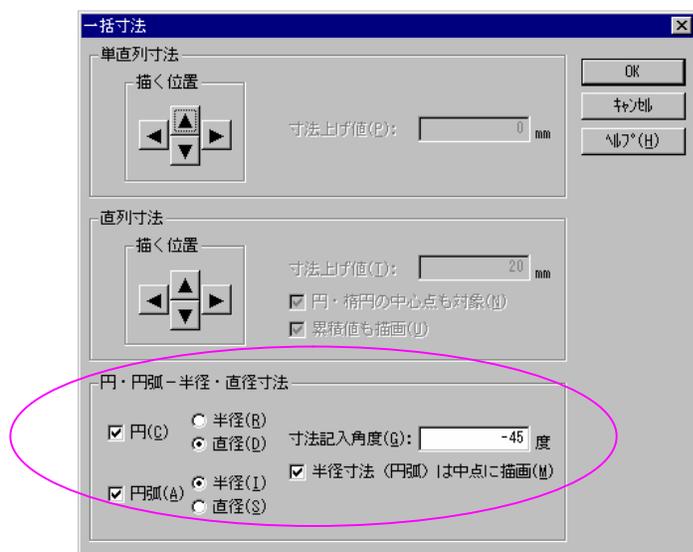
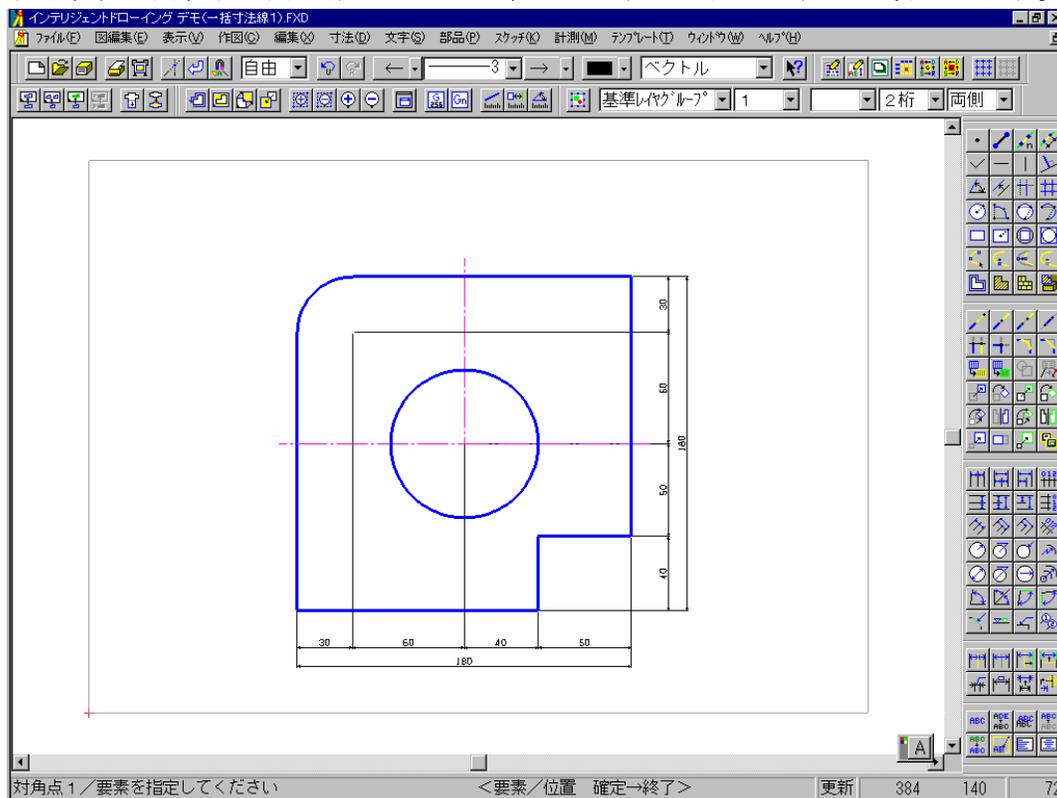


コマンド選択後、ダイアログボックスで寸法の種類を選択します。

今回は直列寸法の右方向、下方向を選択し、寸法上げ値 (20) を入力します。

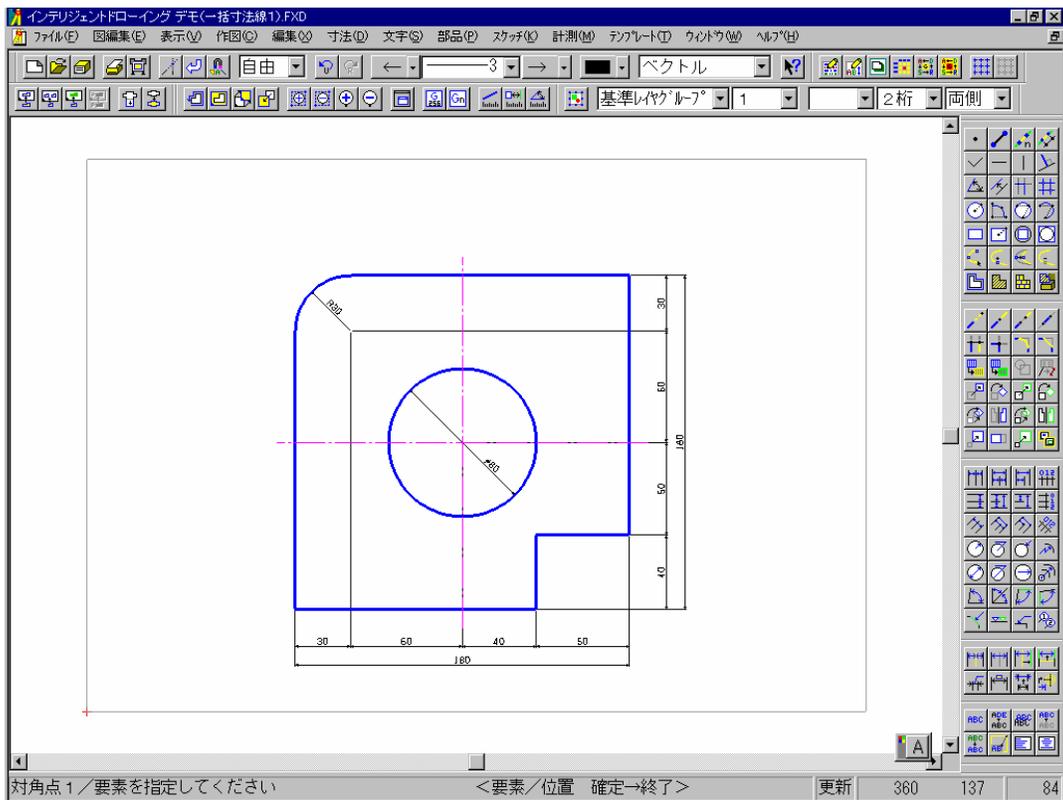
他に、円・楕円の中心点も寸法記入の対象に入れるかどうか、又、累積値の描画の設定があります。

次に OK を押して寸法を記入させたい要素を矩形で選択し、その他の要素をマウス左ボタンでクリックします。(中心線要素を選択して除外します) 確定しますと、右方向、下方向を指定したので、このように寸法が一括して引かれます。



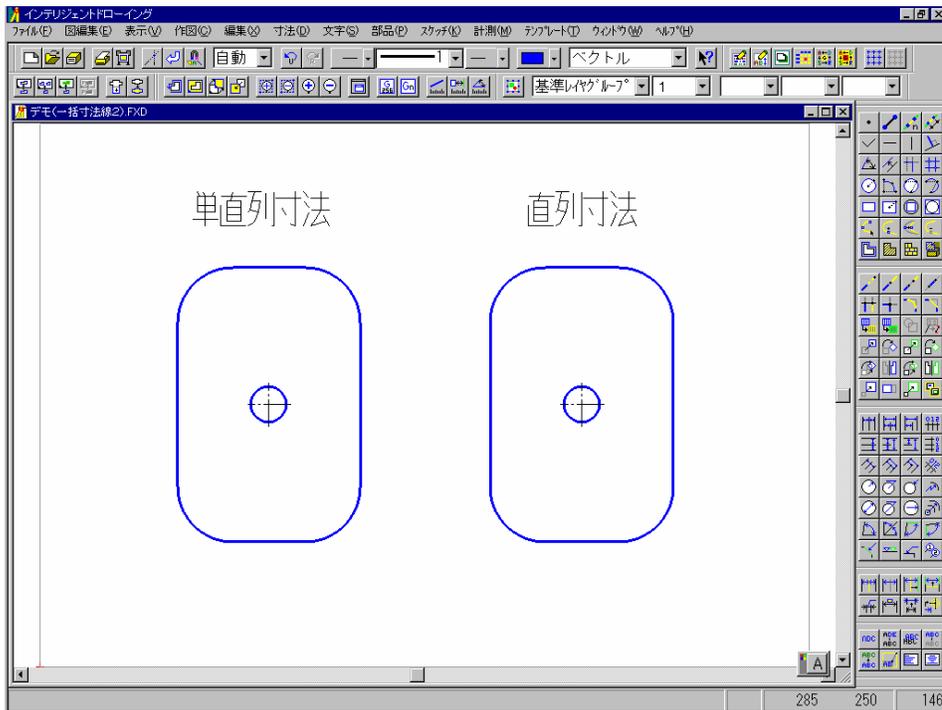
また、円・円弧の寸法は半径入力か直列入力か選択し (円を直径で選択)、次に寸法記入角度 (-45) を設定します。

後は、同じ様に要素を選択しますと、円と円弧の寸法を自動的に引きます。

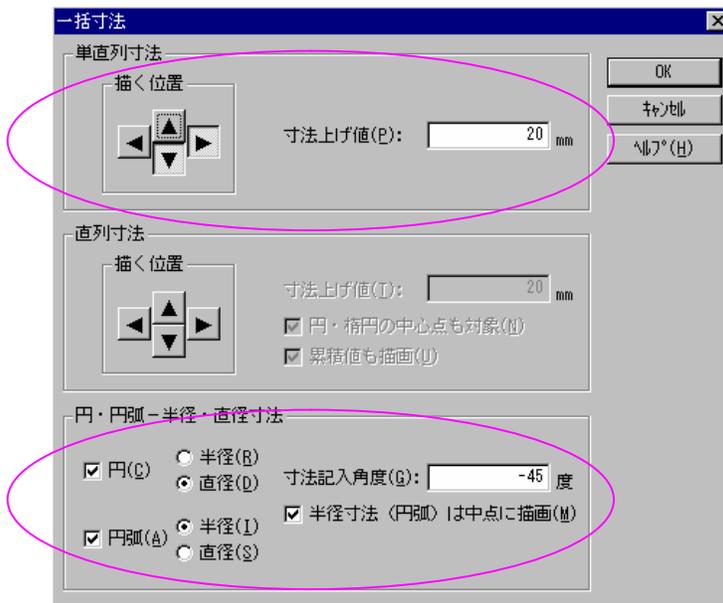


この様に一括で寸法線を描画できます。

(デモ (一括寸法線 2) ファイルを開く)



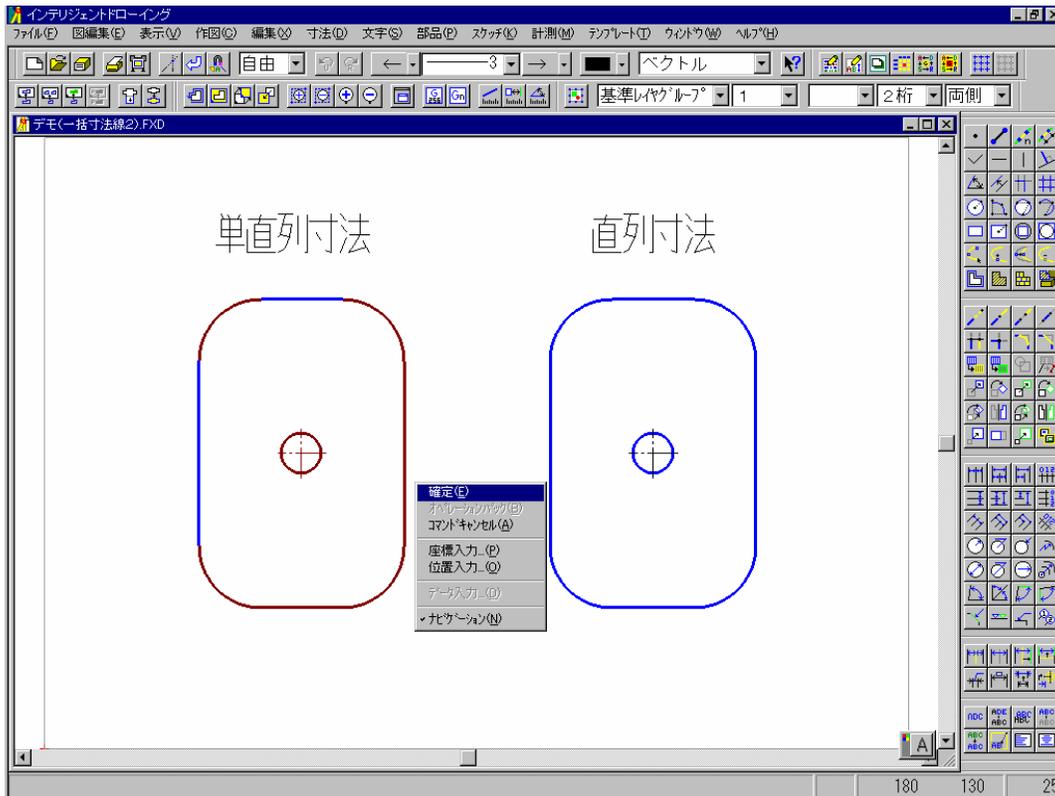
次に同じ図形を使って、単直列と直列の違いを説明します。



まず、単直列寸法で、下方向、右方向を指定し、寸法上げ値 (20) を入力します。

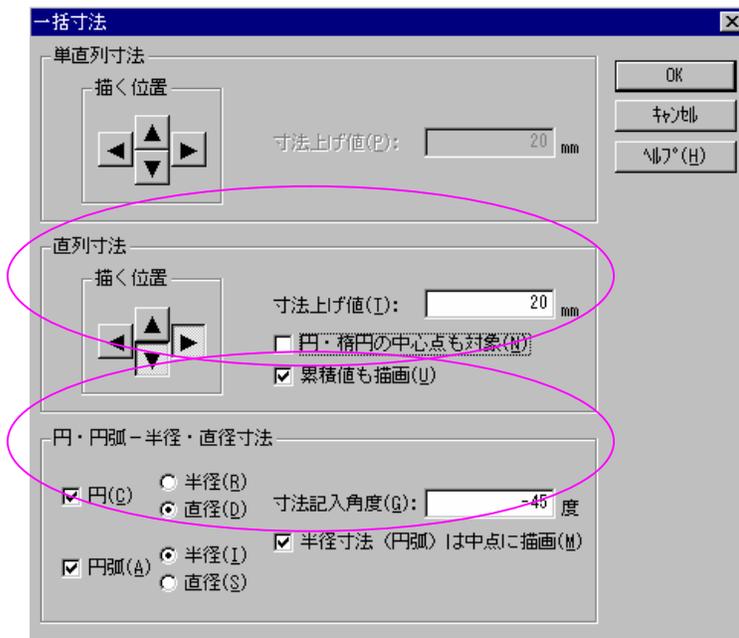
円・円弧 - 半径直径寸法にもチェックを入れます。

そして、寸法を記入したい要素を選択しますが、この時、不要の要素があった場合、後から自由に要素の認識をはずすことができます。



要素を選択したら、確定で寸法が引かれます。

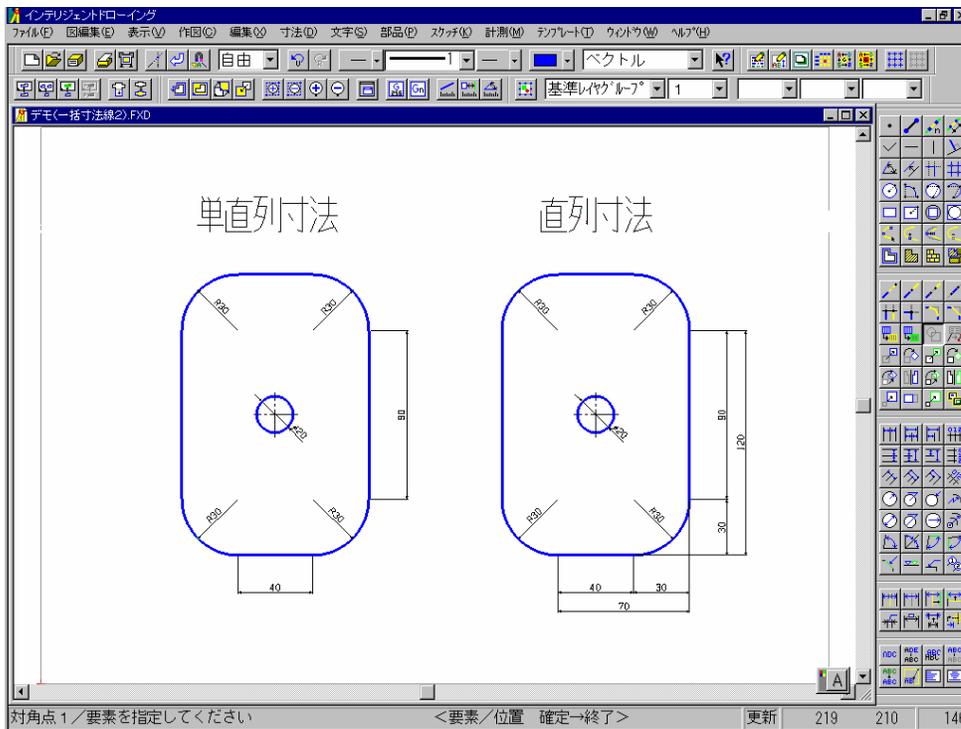
続きまして、直列寸法ですが、寸法を記入したい方向、寸法上げ値の他に、円・



楕円の中心点も寸法記入の対象に入れるかどうか、又、累積値の描画の設定があります。

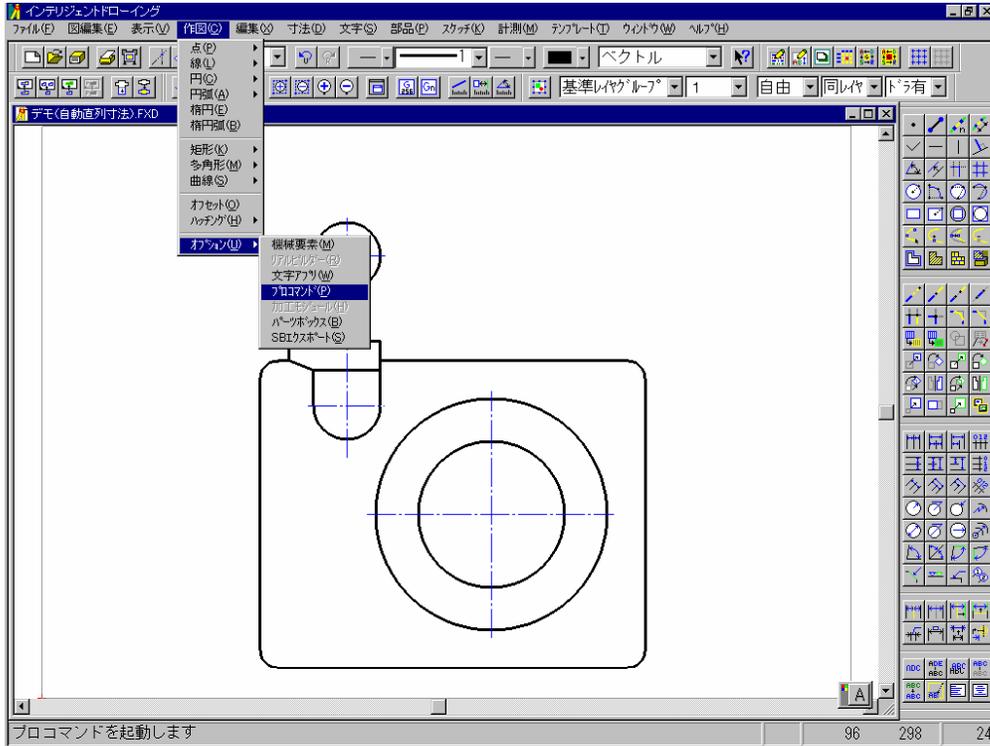
(今回は円・楕円の中心点も寸法記入の対象のチェックを外します)

設定が完了しましたら要素認識をします。(中心線の認識を外して確定) ご覧の様に寸法記入が一括で行われることが分かります。

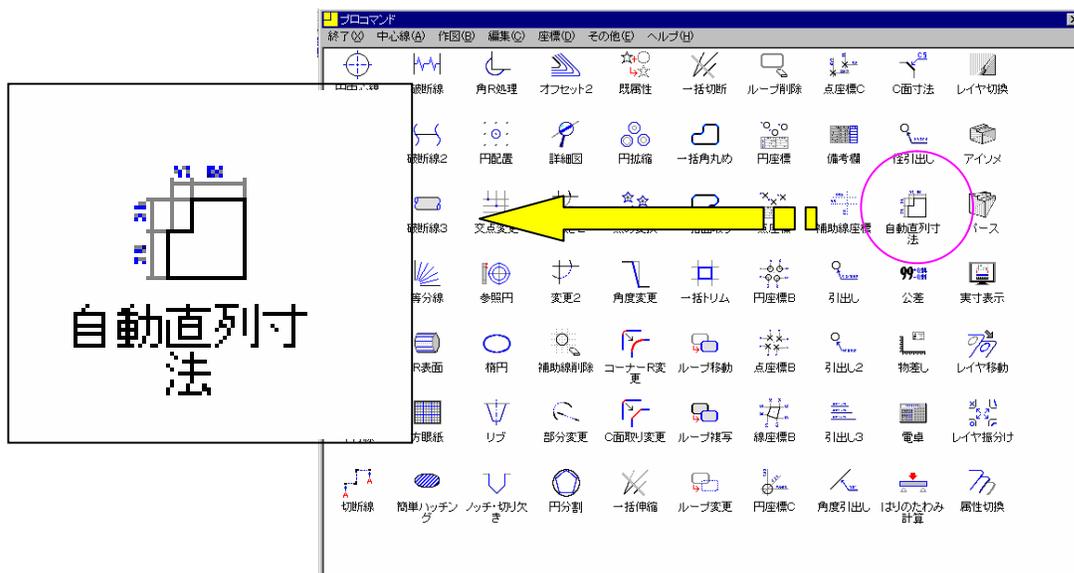


(別の図面を開く)

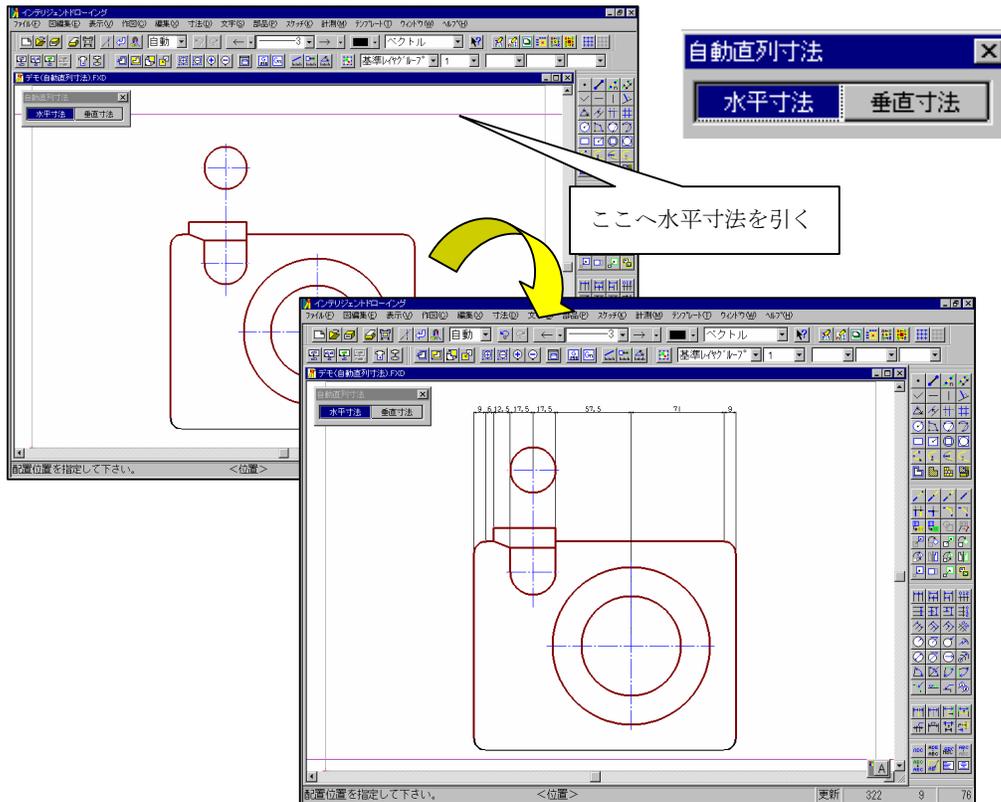
その他、**作図**—**オプション**—**プロコマンド**の中にある**自動直列寸法**の説明をします。



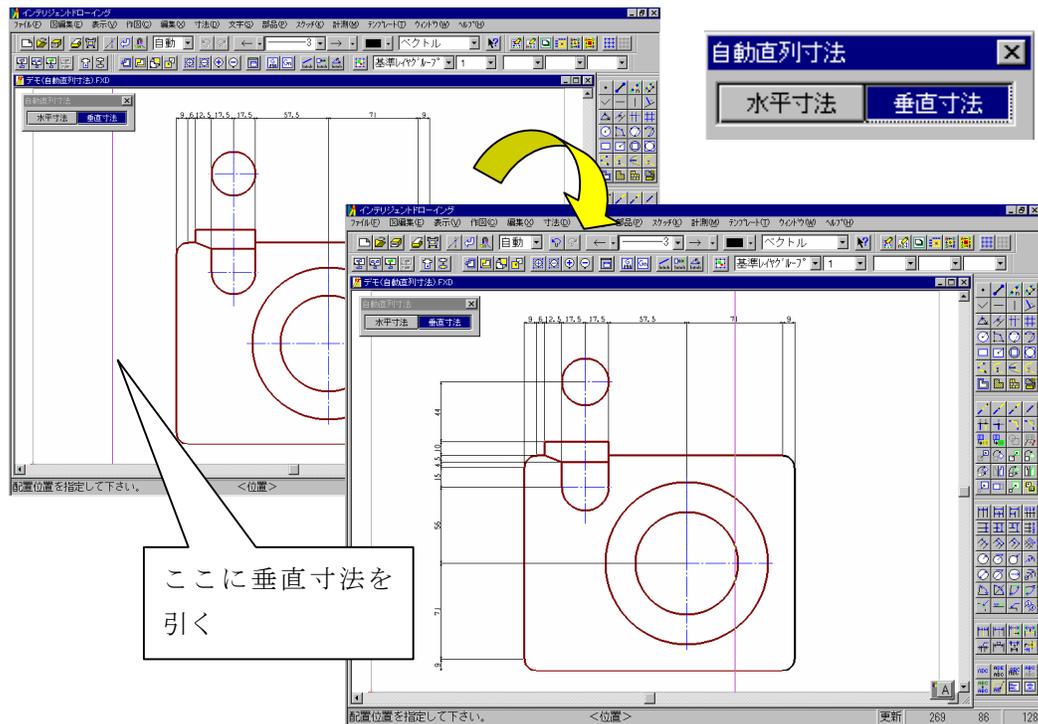
自動直列寸法とは、水平方向、垂直方向を直列で一括して寸法記入する機能です。



まず水平直列寸法を引きます。

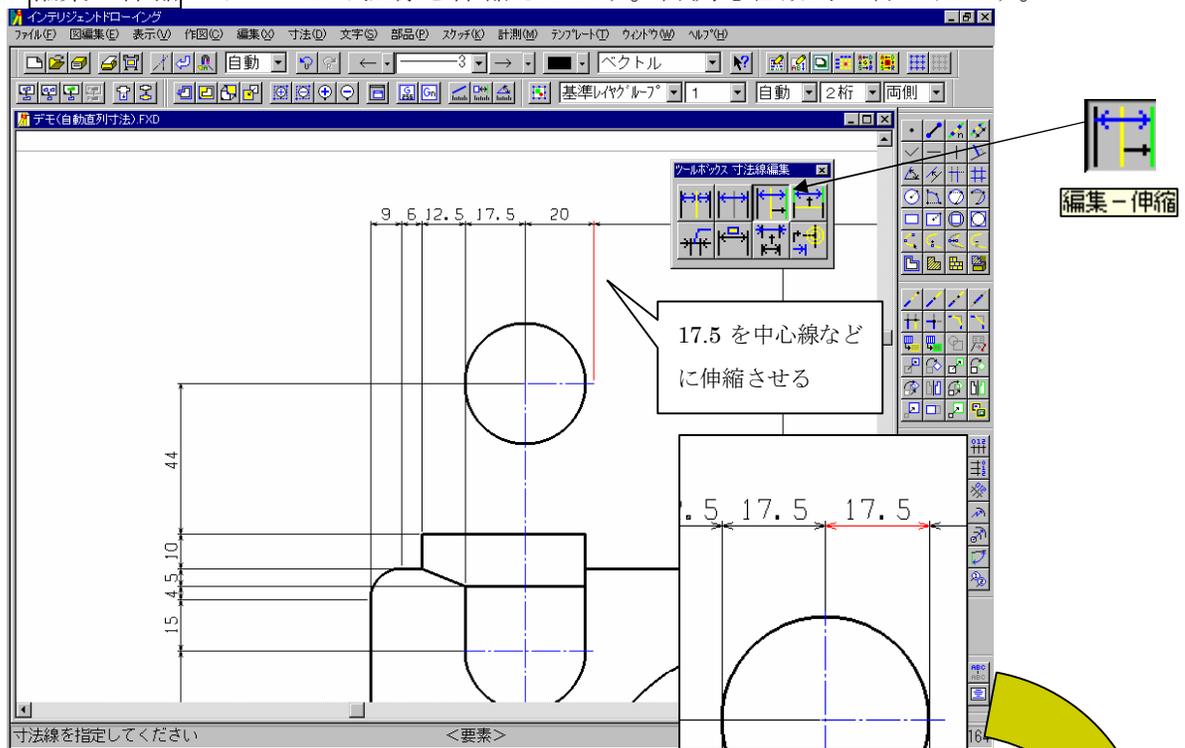


次に垂直直列寸法を引きます。

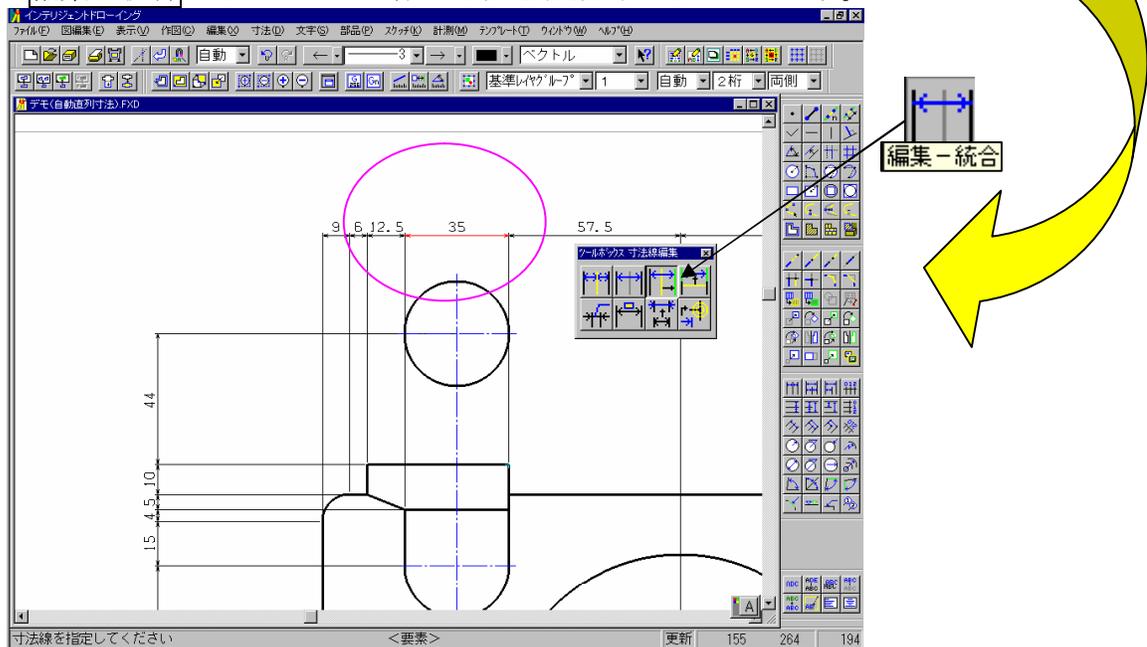


そして、CADSUPER FXには、寸法線編集機能がごございますので、記入した後から楽に寸法を変更することが出来ます。（寸法線編集ツールボックスを引き出し、32 ドットに表示する）

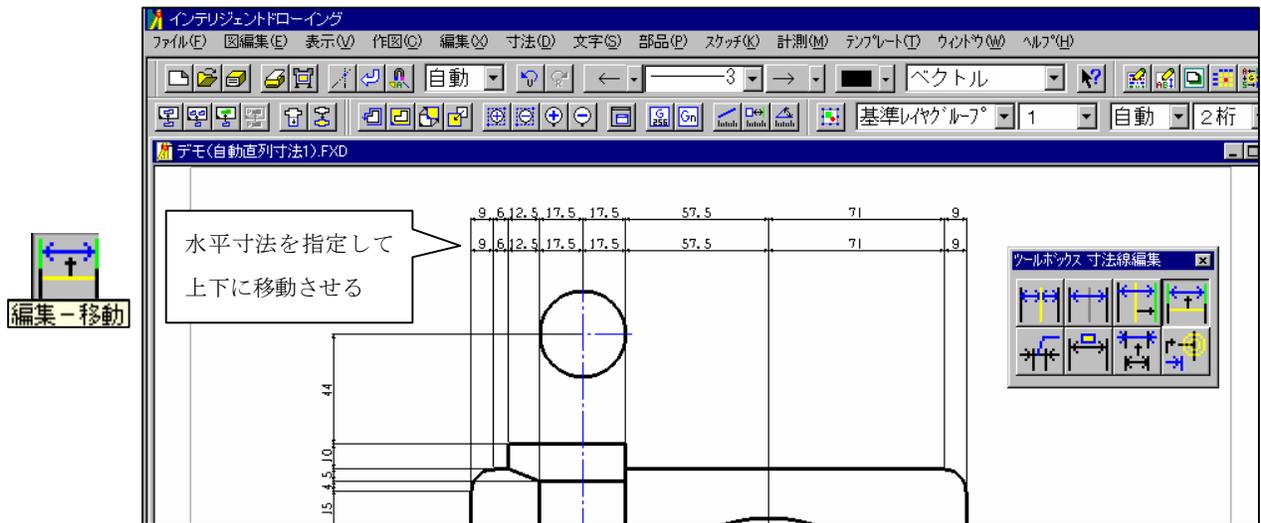
編集－伸縮アイコンは寸法線を伸縮させます。計測も自動的に行われます。



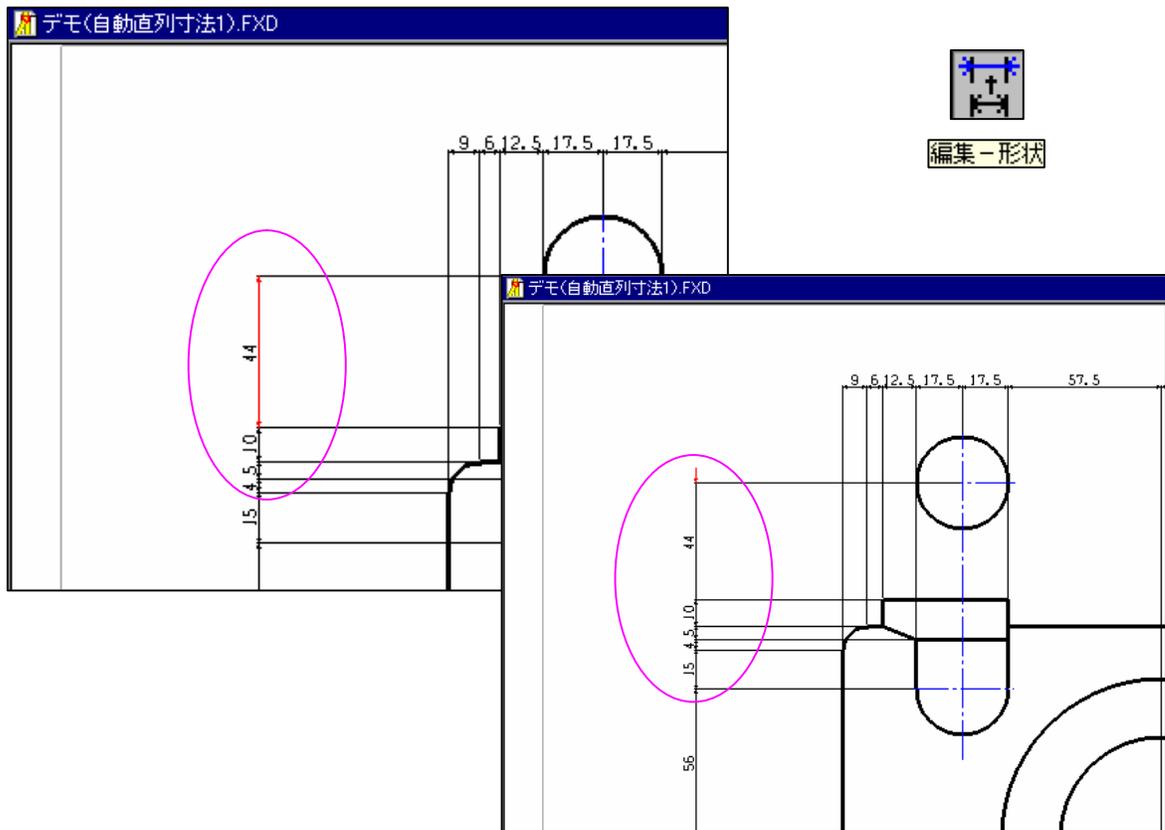
編集－統合アイコンはこの様に寸法を自動的に1つにします。



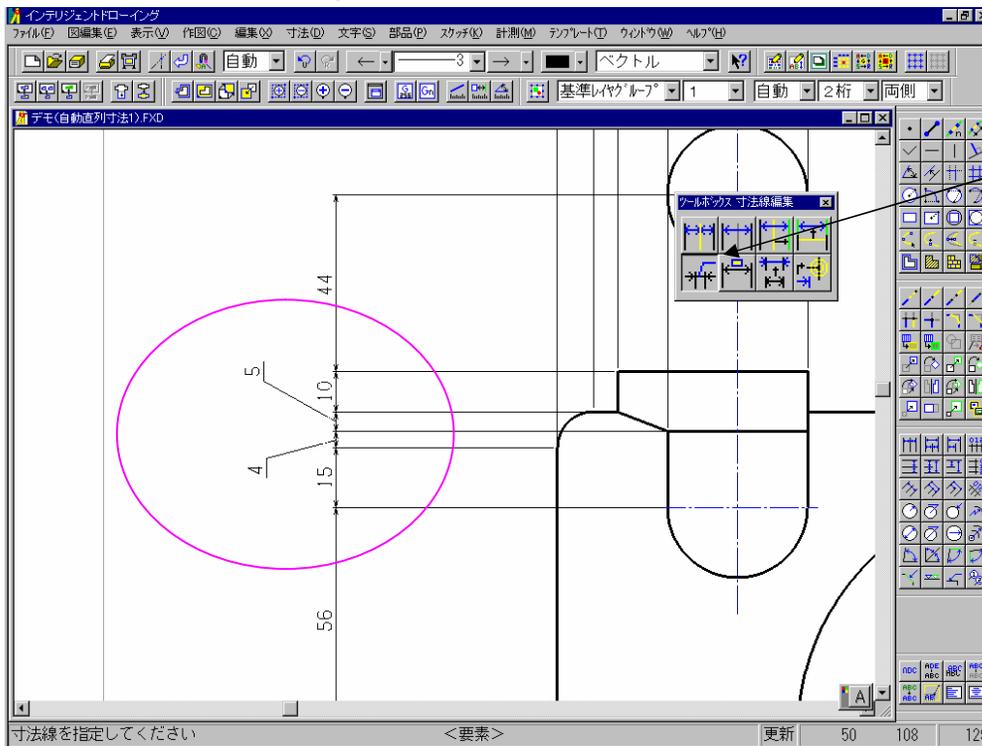
編集-移動アイコンは、寸法位置または、寸法値を自由に移動できます。



編集-形状アイコンでは、寸法矢印の向きを変更します。この様に、ワンクリックで向きが変わります



編集－水垂細部アイコンは見にくくなった寸法値を引き出し、見やすい形状に変更することが出来ます。



以上で一括寸法線機能の説明を終わります。